

Via Latina 22



2014年12月
238号

総本部よりのお知らせーマリア会



総本部共同体とシャミナード
国際神学校共同体から全ての
兄弟姉妹と彼ら協力者と彼ら
家族に、

聖誕祭と恵みある新年の挨拶を申し上げます！

メキシコ特別地区：終生誓願

1月1日諸聖人の祭日、日曜日 Rigoberto Martínez Hernández 士 28歳はメキシコのケタロでマリア会終生誓願を立てました。地区長の Raymundo Domínguez González師がミサを司式し Quentin Hakenewerth師が説教を行い管区長の Marty Solma師が誓願を受け入れました。



ケタロの誓願式: Fr. Quentin Hakenewerth,
Fr. Raymundo Domínguez González (特別地区地区長),
Bro. Rigoberto, and Fr. Marty Solma (管区長) .

Rigoberto士は2008年に初誓願を立てました。彼はサン・ルイス・ポトシ州のワステカ (Huasteca) 先住民族の出身です。彼は会計とコンピューターの管理技術の資格を有し現在はメキシコのプエブラで信徒グループと仕事をしながら4年間の哲学の勉学をしています。彼の望みは、高校で教鞭をとり将来はマリア会志願者の養成担当者となることです。

Rigoberto さん、おめでとう！

マリアニスト家族世界評議会の年次総会

シヤミナード師のビジョンを通して受け継がれた私たちのカリスマのお恵みの一つは、私たちマリアニストの霊性が様々な方法で様々な状況に於いて共通の伝統と使命を共有しながら一つの家族として生きている人たちによって表されている事です。



このようにマリアニスト家族は4つの枝に具現化されています: 信徒マリアニスト共同体(CLM・MLC), 汚れなきマリア修道会(FMI), マリア会(SM), そしてアリアンス・マリアル(AM)です。

これら4つの枝のリーダーたちからなる評議会はマリアニスト家族世界評議会を構成しており、最近、2014年11月13日～15日に、ローマの総本部でその集会が開催されました。例年同様、この会議は4つの枝の情

報やニュースの交換、共同行動計画の作成、将来の計画や使命についての話し合いを意図するものでした。

マリアニスト家族世界評議会の議長は2年毎に枝毎の総長の輪番制となっています。これを遂行するのにマリアニスト家族世界評議会事務局長、Charles-Henri Moulin士が補佐します。シスターFranca Zonta (FMI)は彼女の2年目の議長職を終わろうとしています。Manuel Cortés 師(SM)が今後2年間の議長を務めます。今年は枝の代表者全員が出席され評議会としては世界信徒共同体チームとアリアンス・マリアルから選ばれた新メンバーを喜んで迎え入れました。この会議の要約は聖誕祭のメッセージと共に私たちの全行政単位のメンバーに送られました。



(次の内容です) これは私たちのWebsiteにも載っています。 (www.marianist.org)

次のような主要トピックスが含まれています: 今年のマリアニスト世界祈りの日の反省、マリアニスト召命の日のための準備(2015年3月25日)、そして次のマリアニスト世界祈りの日(2015年、2016年10月)。

普通の家族の集まりのように共通の伝統を思い起こしマリアニストとして結束させる事でこの機会を喜びと兄弟愛の重要なひと時にすることを提供しています。人々の霊的、人格的發展と一緒に働きながらマリアニスト生活を色々な形でおくる証しは小さいものですがそれは今の教会の姿の大切な縮図であり又世界一致のためにも必要なものです。

私たちは私たちを導き、聖霊を与えてくださるよう創設者たちと聖母マリアの支えを祈願します。



2014年 クリスマス・メッセージ

の聖誕の夜、神々しい栄光の光に包まれた天使が神の代理で羊飼い、純朴な人たちに話しかけ、命じられました。“おそれるな、大いに喜びなさい”と。天からの不思議で少々恐ろしい栄光は何の疑いも持たない待ち人羊飼いたちの魂に喜びの光を湧き出させ彼らをベトレヘムに向かわせました。彼らはみ言葉の存在を見なかったのです。光を放った天使の言葉ではなく産着に包まれ飼い馬桶に寝かされた赤子を見たかったのです。人となられたみ言葉は単に述べられるだけではなく実存されました。み言葉は聞かされるだけではなく人々に見えるものでした！



羊飼いたちはみ言葉を信じました。空から地上へ、光から闇へと彼らに送られたみ言葉は神の超自然の試みを以て人間の通常の営みに入り天の壮麗さから地の貧しさに発せられました。羊飼いの恐れを伴う喜びは人間の深い喜び、そしてキリスト者の喜びに変わります。どうしてでしょう？なぜなら天の高きに居られる御父は羊飼いと同じ道を取られたのです。全能の神は世の暗闇の中に来るため、栄光の玉座を去り平凡な赤子の姿で限りある人となり飼い馬桶の貧しさに順じました。それは現実になったみ言葉です。羊飼いたちでさえこれら全ての真の意味は理解できません。

私たちは2014年の降誕祭にあたり私たちが生きている今、闇夜が世界の大部分を覆い続けている事を知っています。人間の苦悩はそれが自然なものであれ私たちの行動によって生れたものであれ絶えず私たちの喜びを打ち壊し希望の光をくもらせるおそれがあります。私たちは特に迫害されている人たちに気を配らねばなりません。なぜなら彼らは希望の源であるイエスへの信仰を保っているからです。私たちは不安定な政治、貧困、無知、暴力、病気そして差別などが原因で苦しんでいる人たちの叫び声に気が付いています。それら環境はしばしば天使たちの“Gloria”の響き声を覆い隠すものです。そして私たちは日々生活の中自分たちの闇の部分、束縛、罪、そして自らの解放への必要性などを意識しています。それでも救いの喜び、人となられたみ言葉の喜びに預かることが出来る全ての人は貧しい人たち、悲しんでいる人たち、束縛されている人たちと仲間になるよう遣わされています。

教皇フランシスはその使徒的勧告の中で、福音の喜び、“大きな喜びをもたらすあのよい知らせ”、を思い起こさせています。傷つき破壊された私たちの世界に存在するこの喜びは、同時に、世界を変えます。なぜなら神は私たちを見捨てになりませんでした。神は私たちの生活の中に入って来られました。この新しい“聖なる家族”は同じく私たちのものなのです。神は人間の姿となることで私たちにその身を捧げてくださいました。そして私たちの喜びあふれる反応は恐れから神への感謝へと、神への感謝から私たちへの使命へ導いているのです。今年、教会は私たちの注意を家族の神聖さと神聖な生活の賜物に向けさせています。これは私たちの日常の生活の中、私たちの人間関係の中で神の現存を深く感じて生きるよう呼びかけています。

この道に沿って数々の奇跡が成されています。それはしばしば目立つものではありませんし、殆ど誰にも注目されていません。産着に包まれ飼い馬桶に寝かされ赤子となった神を発見すること、これも一つの奇跡ではありませんか？また、心の奥に秘めた特別な使命が目的を達する時、それもやはり一つの奇跡ではありませんか：例えば絶望と諦めしかなかったところに神の喜びと平和をもたらしたとき。誰かが深い暗闇に小さな光をさし入れたとき。喜びが、信じることを止めた心を照らしたとき。

今でも天使の声は私たちを人となられた神の御子のもとへ導いています。世間は様々な喧噪や無意味な行動に満ちていますが御降誕の意味は2000年前と同じくその真実を私たちは確信しています。神は私たち全ての者に向かって来られます。そして世の終わりまで神が私たちの方に来られ私たちの中に住まわれるのを止めることは出来ません。

神の恩恵と生誕の喜びがマリアニスト家族全ての兄弟姉妹と共にありますよう祈願します。

ご降誕祭おめでとう！

マリアニスト家族世界評議会

奉献生活を一緒にお祝いします

(2014年11月30日～2016年2月2日)

総本部からの提案



奉献活動の年が始まったばかりです。2013年12月31日の統計によれば、全世界で990,000人いる奉献者と私たちを一致させてくれるこの素晴らしい冒険に意欲を持って参加しましょう。これは過去に感謝し、希望を持って将来を準備し、情熱を持って今に生きるための機会なのです。

これに向けて私たちの一致団結を強めるため総本部は次の方法を提案しています。

1. 今年を生きるための動機付けと示唆

霊生局長の回覧文書で提案されており既に全ての行政単位に送付されています。
“奉献生活の年について”

2. マリアニストの神のしもべと尊者のため、また、彼らと共に祈る

マリアニスト列福請願者であるアントニオ・ガスコン師の主導の下、列福に向けて5名の男女修道者と信徒マリアニストのための祈りを捧げるためパンフレットが制作されました。これは私たちが彼らとの霊的親交を広げ彼らの列福を祈り彼らにお恵みを祈願する機会でもあります。このパンフレットは1月末までに全ての共同体に送付されます。この祈りの意向はそこに説明されています。

3. Via Latina 22 会報の一項目で毎月奉献活動の年についてマリア会行政単位全体にもたらされた実例が紹介されています。このためにいつでも可能な時に行事、イベントについて短く、示唆に富んだ記事を写真（説明文付）と一緒に送付してください。 (secretariatsm@smcuria.it)

4. マリアニスト家族の国際サイトのページ (marianist.org)

- 種々の資料、記念行事の記述、研究、会議など一年を通して行政単位で共有しているもの。
- マリア会員召命に関しての会員たちの証言。ある会員たちからはこのような証言をお願いすることになりますが、望むなら全員が参加できます。次の4つの質問に関する回答を付けて最大1.5ページの文章をつぎのアドレスに送ってください。 secretariatsm@smcuria.it

1. マリアニスト修道生活への私の召命はどのようにして生まれました？
2. その召命について、現在、私が感謝する理由は何ですか？
3. 私の修道生活の特徴づける注目すべき出来事はなんですか？
4. 何故、私は新メンバーを私たちに加わるよう招きたいですか？

奉献生活の良い年を！



祈りの意向

レイチェル・バウンガートナー・ロザノさんの近況

2014年11月17日レイチェルは深刻な肺感染症のため肺摘出の外科手術を受けました。この手術は複雑で注意を要するもので11時間以上の時間がかかりました。驚異的回復の後、彼女は11月26日退院しました。彼女は再び自宅に戻りそこで再起に向け最後の感染症菌の除去に努めます。それは時間がかかるでしょう。

引き続き福者シャミナード師の取り次ぎで彼女の完全な再起が実現するよう祈りましょう。福者シャミナード師は今までレイチェルに特別な配慮をなさってきました！

メールアドレス変更

Francisco Valls:
marianistasc@obipinar.co.cu
 Herminio Martinez Molna:
herminio.martinez.sm@gmail.com
 Daniel Hernandez:
tdhergu@gmail.com
 Julio Gil Hernando:
juliogil222@hotmail.com
 Petrus Ekka:
ekkap2@udayton.edu
 Anup Khoya:
khoyaa1@udayton.edu
 Nabin Lugun:
luginn1@udayton.edu
 James Maus:
jimmaus9@gmail.com
 Gerard McAuley:
gerardmcauley001@gmail.com
 Kouao Akobé Noël Dominique:
noelkouao75@gmail.com

総本部通信、 最近の送信

- 計報 # 30-32
- 11月14日： 9月・10月に新学期が始まる全ての行政単位に向け2015年教育情報についてのマリア会教育局長Max Magnan 士の情報要請
- 11月17日： 142号の3部門（3つの言語で）**奉獻活動の年**についてマリア会霊生局長André Fétis から全行政単位の責任者へ

総本部日程

- 12月1日-22日： 総長評議会員のアメリカ管区訪問（第2部）

